

行動チェックリストの利用について

磐田市教育委員会

このチェックリストは、千葉県教育総合センターの作成したものを参考に、本教育委員会教育相談係が作成したものです。

このチェックリスト使用のねらいは、子どもの行動を見直してみることによって、特別な教育的ニーズの有無や行動の傾向を知り、要因や支援の方法を探る契機とするためのものです。

このチェックリストは、標準化されたものではなく、診断名をつけるために用いるものでもありません。

1 使用方法

1 4領域の5つのチェック項目について5段階で評価します

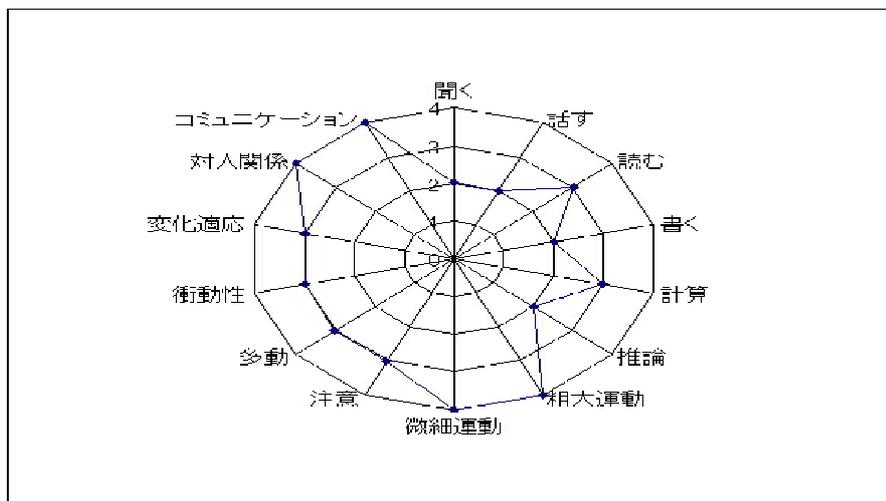
- ・ 1 「まったくできない」
- ・ 2 「できない」
- ・ 3 「できる」
- ・ 4 「よくできる」
- ・ 5 「かなりよくできる」

「点数」の欄に1～5の数字を入力することで、自動計算をされ、領域ごとに合計点、平均点が算出され、レーダーチャートとして表われます。

チェックについては、複数の教員の目で行うことで、より確かなものになります。

2 レーダーチャートへの表れ

(1) 学習上の困難さの兆候を示す



Q 上のレーダーチャートからどんなことが分かりますか？

A 「聞く」「話す」「読む」「書く」「計算する」「推論する」等の得点が他に比べ低く、学習上に困難さがあります。

Q 次にどんなことを検討したらいいですか？

A まず、要因について検討をします。

「経験不足」「学習量の不足」「心理社会的に不適切な環境」「認知上の特徴」等から、要因の検討を進めます。

次に、経過や詳細な様子の把握をします。

経過の把握

対象児童生徒の現学年に至るまでの経過を見直すために、かかわりのあった教職員や保護者からの情報収集に努めます。

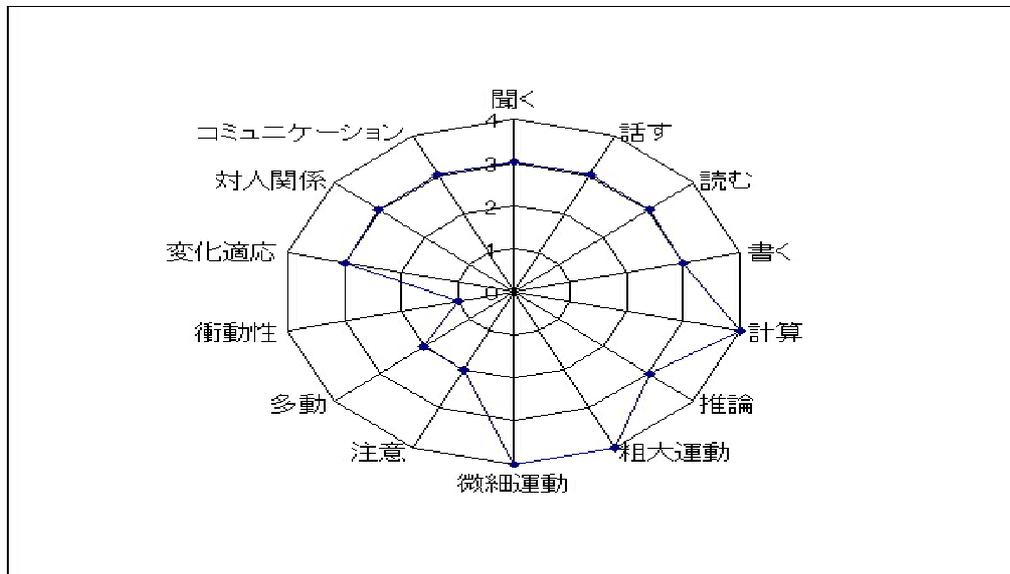
詳細な様子の把握

「平仮名が書けない」という見方にとどまらず、「清音はかけるが拗音で苦労している」「似た文字を誤りやすい」「文字の形を思い出しにくい」等のつまずきの特徴的な様子を見ていくように努めます。

Q どのような支援方法が有効化か考えるためにはどうしたらいいですか？

A 児童生徒の認知の特性を知るために、個別の検査(WISC、K-ABC)を行い、どのような難しさを児童生徒が感じているか、どのような学習方法がより有効と考えられるかを検討していくといいです。ただし、個別の検査は、保護者の同意のもとに行います。

(2) 行動上の困難さの兆候を示す



Q 上のレーダーチャートからどんなことがわかりますか？

A 注意力、多動性、衝動性等の得点が低く、情緒・行動面で課題があることを示しています。

Q 次にどんなことを検討したらいいですか？

A まず、要因について検討をします。

「経験不足」、「心理社会的に不適切な環境」、「本人にとってもともと集中し続けることが難しい特性」等から、要因の検討を進めます。

また、落ち着きがないことで叱られ続ける体験や失敗経験の積み重ねにより、自己肯定感が下がり、さらに落ち着きがなくなるという悪循環に陥っている場合もあります。

次に、経過や詳細な様子の把握をします。

経過の把握

対象児童生徒の現学年に至るまでの経過を見直すために、係わりのあった教職員や保護者から情報収集に努めます。

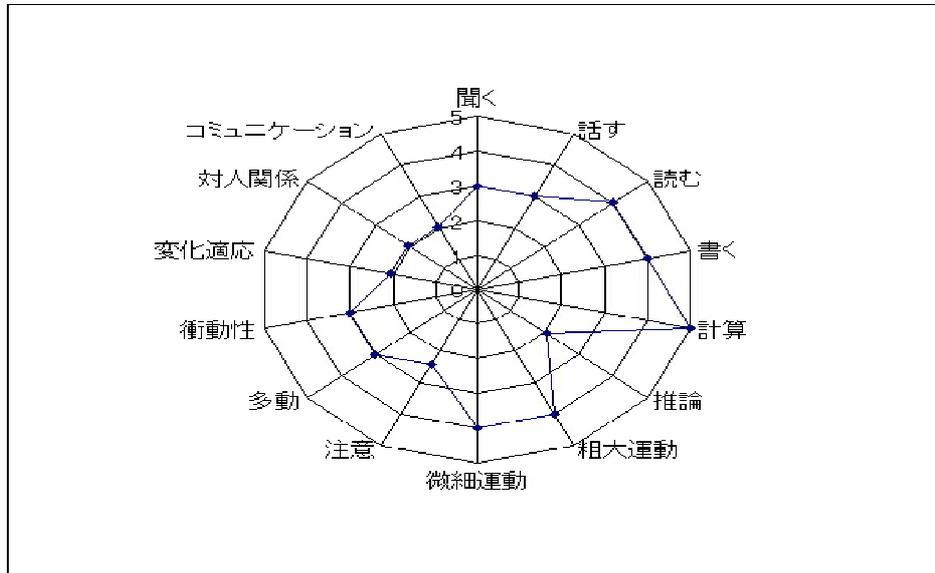
詳細な様子の把握

どのような場面で、どのように過ごしているのかを詳細に把握していく。例えば、教科、活動の種類、場所、相手の状況、動機等で探ります。

Q どのような支援方法が有効か考えるためにはどうしたらいいですか？

A 専門の相談機関や児童精神科医療機関等と連携し、適切なアドバイスを受けながら指導にあたるのが望まれます。

(3) 社会性等の困難さの兆候を示す



Q 上のレーダーチャートからどんなことが分かりますか？

A 変化への対応、対人関係、コミュニケーションが低く、社会性等の面で課題があることを示しています。

Q 次にどんなことを検討したらいいですか？

A まず、要因について検討をします。

「経験不足」、「心理社会的に不適切な環境」、「本人にもともと状況や相手の意図を読み取ったり、行動を柔軟に調整したりすることが難しい特性」等から、要因の検討を進めます。

また、人と適切にかかわれない体験や失敗経験の積み重ねにより、自己肯定感が下がり、集団不適応を悪化させている場合もあります。

次に、経過や詳細な様子の把握をします。

経過の把握

対象児童生徒の現学年に至るまでの経過を見直すために、関わりのあった教職員や保護者から情報収集に努めます。

詳細な様子の把握

どのような場面でどのように過ごしているのかを詳細に把握していく。すなわち、教科、活動の種類、場所、相手の状況、動機等で探ります。

Q どのような支援方法が有効か考えるためにはどうしたらいいですか？

A 子どもの教育的ニーズに気づき対応すれば、社会性の成長が期待できる子どもたちです。専門の相談機関や児童精神科医療機関等と連携し、適切なアドバイスを受けながら指導にあたるのが望まれます